

令和7年度第2回浦安警察署協議会

1 開催日

令和7年9月16日（火曜日）

2 開催場所

浦安警察署

3 出席者

・協議会委員 5人 ・浦安警察署 3人

4 諮問事項

(1) 警察における人材確保

ア 警察官を志望する者が減少し、採用情勢が年々厳しくなっているが、警察の魅力をアピールし、多くの方に受験してもらうにはどのようなアプローチが有効か

イ 警察の活動を市民に正しく伝え、理解と協力を得られるよう、どのように広報媒体を活用していくことが効果的か

(2) 健康管理の推進方策

ア 職員が健康かつ意欲的に働くことができる職場環境を整え、メンタルヘルスを良好に保つためには、どのような取り組みが有効か

イ 職場環境の悪化をもたらす各種ハラスメント被害の潜在化、深刻化を防止するため、どのような対策を講じているか

ウ 熱中症対策として取り入れているものや、健康増進のためにどのような取り組みを行っているか

5 委員からの意見等

(1) 警察における人材確保について

ア テレビ番組の活用について

警察24時などのテレビ番組で、業務紹介などを積極的に行い、警察業務に関心を持たせる。

イ 初任給の引き上げについて

初任給の金額を引き上げ、他企業との待遇の差を縮める。

年収を変更しなくても、ボーナスの先払い等で対応を図ることができるのではないか。

ウ SNSを用いた情報発信について

Instagram、Twitterを利用して積極的に情報発信を行う。

なお、情報発信する際には、警察業務の善し悪しを含めた全ての情報を発信する必要がある。

千葉県警察が、SNSを用いて広報活動をしていることも広める必要がある。

エ 警察広報紙の活用について

アニメなどのキャラクターを用いて、一般の方が目を引くような広報紙を作成する。

また、作成した広報紙を、各家庭にポスティングするなどして、警察業務について多くの人に把握してもらう。

オ 小中高生に対する講演の実施について

小中学生の頃から、警察官の魅力を伝え、警察という職業に興味、関心を持たせる。

警察署の施設見学や鑑識作業の体験などをすることが効果的である。

カ インターンシップの実施について

インターンシップなどで、警察業務を実際に体験することも重要である。

しかしながら、警察は、危険が伴う業務が多いので、体験させる業務を選定する必要がある。

キ 各種イベントの活用について

祭りなどの各種イベントを活用して、制服姿の警察官を見せることにより、警察に親近感を感じられるようになる。

ク 警察官の不祥事について

警察官の不祥事報道などが、悪い影響を与えているのではないか。

(2) 健康管理の推進方策

ア 福利厚生 of 充実について

健康診断の充実やスポーツジムに通いやすい環境を構築する。

イ 休暇の積極的な取得について

当たり前休みに取れる環境を作るべきだと考える。

人間らしい生活をすることで、警察の人材確保にもつながると思う。

ウ ハラスメント対策について

定期的なハラスメントの検証を実施する。

また、Eラーニングなどを活用し、ハラスメントに対する基礎知識の向上に努める。

教養をする際には、具体的な事例を用いることも重要である。

エ 相談窓口の設置について

同僚職員ではない、外部の相談員、相談窓口を設置し、相談しやすい環境を作る。

オ 熱中症対策について

水分を提供するなどして小まめに水分補給を行う。

熱中症対策で最も効果的な方法は、水分補給である。

6 答申等に対する措置結果

なし

7 その他

会長の選出を行った。

8 実施状況

